

「スマホ・レス」

最近、ネットから個人情報が出たというニュースが連日流れている。

多くの方が「〇〇PAY」などのクレジット決済でポイントを貯めている状態で街のスーパーでもレジ決済にスマホをかざしている。

一種の流行なのかと思っていたら、スマホが決済端末になっており、しかもポイント還元というプレミア付きということでポイント目当ての方が多そうだ。

「〇〇%還元」や「ポイント〇倍セール」などという広告も見る。

確かに、ポイントが溜まれば「副収入」的な感覚になるので自分の「おこづかい」という楽しみ方やもっと大袈裟な話では「マイル」を溜めて「旅行」などもあったという感じ。

しかし、情報化社会の闇の部分が出て来て流出した個人情報を悪用される可能性が高まっているという具合だ。

また、メールでも「金融機関」や「国税庁」などを語る物が多くなり迂闊にアクセスすると大変なことに成り兼ねないし、広告のように見せかけて「トロイ」のようなアプリが隠れているのも多くありネット環境が悪意を満ちた者に荒らされている。

うちの場合、セキュリティソフトがチェックしてくれていますが、セキュリティソフトも万能ではないので注意が必要。

こんな風には書き始めるとネット自体が怖くなります。

例えば、IoT という事で家電などがネットと繋がっているケースが多くなり今日のワイドショーでは自宅の監視カメラが乗っ取られるケースを言っており防犯にならないと言っていた。

確かに、帰宅前にインターネットで
エアコンを入れたり、お風呂を沸かせたりするのは大変便利だが
逆に、冷蔵庫の温度を変えられて食材が台無しになる
という表裏一体のメリットとデメリットもあるのだ。

昔、「デジタル・デバイド」という言葉が流行ったが、
最近は、不便だけれど「デジタル・レス」という考え方も出て来ている。

私は、クレジットカードは1枚所有しており、
殆どは公共料金の支払いなので
おかしな決済はクレジット会社がチェックしてくれているようで、
今まで1回、「こんな取引しましたか」という連絡があっただけ。

その他のアプリも利用する際は2段階認証があって、
メールで送られてくるコードを入力する
というセキュリティ管理がされているが
これは不便なので滅多に使わないでいる。

こんな具合なので殆どが「現金払い」。

スーパーのレジでは小銭を払うのに財布の中を探すので
時間がかかるのでお札と百円硬貨をいれてスピード化しているが
会員カードにポイントは還元されているので
「〇〇PAY」と遜色がないと思っている。

しかし、この方法だと小銭が貯まる一方だが、
スーパーのようにレジに人が並ぶことがない個人店などで
小銭を出来るだけ使うようにしている。

意外なのはスマホ決済で時間がかかる人もいるので、
「私の方が早いわ」と内心呟いている。

「デジタル・レス」やけど、
例えば、病院などで待ち時間が長いと退屈なので
スマホで動画を見たりしている。

NHK ONE などは音声が出ないと訳が分からないが
リールというショート動画機能は見ているだけで楽しめるので
有難いと思っている。

中には「料理」もあって、意外な調理法を知ること出来たり
中国系と思うが女の子がダンスする動画や
欧米系と思うが動物が良いことをするものもある。

お蔭で普段はスマホのバッテリーは1週間ほど持っていたが、
動画を見るようになりバッテリーの残量を気にするようになった。

つい最近、充電を忘れて、朝、チェックしようとしたら完全放電状態で
慌てて充電しようとしたら初期設定が始まった
という経験もした。

ホンマ、完全に「デジタル・デバイド」になれない時代。